

備前市事務事業評価シート

(平成23年度事業)

事業の概要					
事業開始年度	昭和57年		根拠法令・例規等	社会教育法20条 備前市立公民館設置条例	
総合計画	大項目	03	地域文化と人が輝くまちづくり	問	担当課(室)
	中項目	02	生きがいのあるまちづくり	答	日生地域公民館
	小項目	04	公民館	職・氏名	主査・大西 太平
事務事業名		04	日生地域公民館管理運営事業	電話	0869-72-1006
				このシート作成に要した時間	5.0 時間

事業の目的		
対象(誰・何に対して)	市内在住者、市内事業所に勤務している人及び公民館を利用している人。	
目的(何のために)	地域住民の生涯学習の中核として様々な学習の機会や活動の場を提供するとともに、自発的な活動を奨励し地域社会の形成や文化の振興を図ること。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	公民館の文化講座等を通じて日生地域を中心とする地域住民間での親睦交友が深まり、また各種グループ活動での生涯学習を通して得たものが、地域社会に豊かな生活文化として浸透し、地域の文化をつくり、まちづくりにつながっていくこと。	

事業の実績				
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度	
	地域公民館運営事業	施設の維持管理運営・貸館業務		
	市民講座	主に日生地域住民対象の講座を企画・開催		
	文化祭	日生文化祭の企画・運営		

事業費等		単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
決算額	事業費	千円	2,148	1,552	1,644
	必要人員	人	1.25人	0.90人	1.01人
	事業費	千円	7,596	8,889	10,027
財源	国庫支出金				
	受益者負担金		464	115	174
	繰入金				
	市債				
その他( )				48	
一般財源		11,311	8,774	9,805	
受益者負担比率	%	4.0%	1.3%	1.7%	

結果指標名		単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
結果指標	説明		日生地域公民館の講座参加人数(延べ人数)を結果指標量とする。		
	結果指標量	人	283	380	367
	対前年比	%		134.3%	96.6%
	活動コスト	円	12,038,000	8,889,000	10,112,000
単位当たりコスト			42,537	23,392	27,553

事業の成果		年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度目標値
市民講座参加者数	成果指標名	目標値(A)	400	400	400	400
		実績値(B)	283	380	367	到達目標値
		達成率(B/A)	70.75%	95.00%	91.75%	400
成果指標設定の考え方・式や説明						
市民講座参加者数を成果指標とした。						

事務事業の評価		該当する項目を から へ < 「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い C
	市民ニーズ	市民・団体等から要望・要請が強い	
効率性の評価	コスト	単位当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい 受益者負担率は適正である 受益者負担率を見直す余地がある	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い C
	手段	サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	
有効性の評価	目的達成度	成果指標の設定は適切である 成果指標の到達目標値は達成できそうである 成果指標達成率は前年度と比較して向上している 成果指標達成率は80%未満となっている	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い C
	市民参画度	現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	

進行年度(H24年度)の改革改善内容		
状況	拡充	現状継続
	見直し	縮小
	整理統合	休止
	廃止・完了	
説明	平成24年度から施設使用料及び冷暖房料の改定により、受益者負担の見直しすることとした。新規の公民館講座を開設することにより、公民館利用者の増加を図る。	

総合評価		
主に日生地域住民の文化活動等の身近な活動場所として利用されよう中央公民館、吉永地域公民館と連携しながら、日生地域の住民が参加できる講座を開催し、利用者の増加を図り、コスト削減に努力を要する。	総合評価	A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い C

平成25年度の方向性・取組目標		
方向性	拡充	現状継続
	見直し	縮小
	整理統合	休止
	廃止・完了	
取組目標	施設利用者の要望を取り入れながら、日生文化協会を中心とした地域の文化活動を推進し、施設が円滑に利用されるように、広報・ひなビジョン・町内放送等を活用し情報提供を行っていく。また、備前市内の各公民館と連携しながら、公民館講座の募集に取り組み、公民館利用者の増加を推進する。	

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標を評価し、その留意点